

自主講座 [Renshi Taiwan]

認識台湾

23年7月、呉叡人さんをお迎えして

『台湾、あるいは孤立無援の島の思想』(みすず書房) 著者



呉叡人(ご・えいじん/ウー・ルウェイレン)さんは著書『台湾、あるいは孤立無援の島の思想』(写真右)で、過去の国家暴力や不正義をただし民主化を推進してきた台湾の経験をかえりみると同時に、国際政治の舞台では今なお「籠の中の鳥」のように日本・アメリカと中国という帝国のはざまに置かれていることをめぐる思想的な格闘を刻んでいます。

帝国主義の時代の再来を思わせるこの世界において、戦争に向かうのとは異なる、新しい世界のヴィジョンがありうるのか? 問いを掘り下げたいと思います。

第1回自主講座◎ 呉叡人さん講演会 (対面&オンライン)

「台湾民族」の誕生—台湾における左派思想の伝統を捉え直す

7月6日(木) 18時半~21時 @京都大学・法経本館第11教室

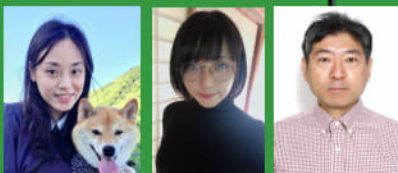
第2回自主講座◎ シンポジウム (対面&オンライン)

台湾と沖縄 黒潮により連結される島々の自己決定権

—東アジア地域世界の「平和」を準備するために

7月8日(土) 14時~17時 @京都大学・法経本館第4教室

パネラー◎呉叡人、張彩薇(自主講座「認識台湾 Renshi Taiwan」実行委員、京都大学大学院生)、
宮良麻奈美(石垣市住民投票を求める会)メンバー)、加藤直樹(ノンフィクション作家、『九月、東京の路上で』著者)



左から張彩薇さん、
宮良麻奈美さん、
加藤直樹さん

対面・オンライン参加希望の方は7月2日(日)までに
下記 URL または右記 QR コードよりお申し込みください
<https://forms.gle/wmJVmaa5L1WaCkFY8>



主催：自主講座「認識台湾 Renshi Taiwan」実行委員会 / 京都大学・森川輝一研究室

Tel & Fax: 075-753-3034 E-mail: renshi_taiwan@googlegroups.com

Facebook: <https://www.facebook.com/groups/835387507896178>

協力団体：アジェンダプロジェクト、自由と平和のための京大有志の会、京都大学台湾留学生会、地域アソシエーション研究所

協力：京都大学「分野横断プラットフォーム構築事業」

沖縄犠牲の平和「利己主義」



番外編

台湾中央研究院 呉叡人さん



「どうすればいいか沖縄の友人たちに聞きたい」と自衛と反戦の狭間で葛藤する中央研究院台湾史研究所の呉叡人副研究員。3月、台湾

台湾の人々の中には、中国の侵攻に備えるため、沖縄の米軍基地が必ず必要と考える人は少なくない。親米・親日的な台湾独立論の主流をなす観点でもあり、そのような考え方と一線を画すのが、台湾政府直轄の研究機関「中央研究院台湾史研究所」の呉叡人さん。呉さん（2021年、みずす書房）

自衛と反戦のはざまで葛藤

で、「この利己主義の立場こそ、世界で帝国のはざまにあるすべての弱小民族の悲劇の根源である」と述べ、大国のはざまに「悲劇の循環を乗り越える」ため、「こうした利己主義の立場を放棄しなければならぬ」と呼びかけた。

台湾の人々は1987年まで国民党政権下で戒厳令に置かれ、言論や自由を封じられた。戦後、米ソ冷戦構造下で台湾と共に「反共の防波堤」とされ、沖縄の人の人権が奪われたことに共感を寄せる呉さん。

「私はたとえ困難な状況におかれても沖縄人を犠牲にしてはいけな、と公に発言した数少ない学者だ。戦争の話になると、沖縄のことを考える余裕がなくなる。こういう時こそ、このような声が台湾の中にあるべきだと信じる」と話す。

一方で、中国による台湾侵攻を強く懸念する。ウー・ルウェイレン 1962年、台湾桃園生まれ。台湾大学政治系卒、シカゴ大学政治学博士、早稲田大学客員研究員などを経て、中央研究院台湾史研究所副研究員。比較歴史分析、思想史、文学、哲学などに精通する。

台湾の軍備強化はその抑止のため、必要性を認める立場でもある。「強い側に助けてもらいたいという、台湾の立場も分かっている」との気持ちも吐露する。

台湾の多くの人が近い将来、戦争になると思っていないものの、呉さんは「自衛意識」が静かに内部で高まりつつあるとみる。民間人が射撃や救命救急などを学ぶ民間講座の広がり为例に挙げ

「台湾有事」を巡る沖縄の懸念も把握する。だからこそ、「非軍事」による平和を求める沖縄の声に対し、理想と現実のはざまに葛藤を見せる。

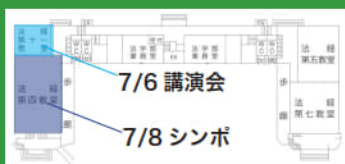
「どうすればいいのか、沖縄の友人たちに誠意を持って聞きたい。戦争に反対すること、自分を守ることは、どうすれば両立するんですか」

呉さんは戦争回避に向けて、「説得力のある論証が必要だ。みんなで探さなければ答えは見つからない」と話し、東アジアで国や地域を超え、市民社会が深い対話を重ねていく必要性を提起する。

（中村万里子）



【会場】
京都大学・吉田キャンパス
法経済学部本館
京都市左京区 京都大学吉田キャンパス
法経済学部本館1階西側
●京都市バス「京大正門前」「百万遍」徒歩3分
●京阪電鉄「出町柳」徒歩13分



7/6 講演会
7/8 シンポ
京都大学・法経済学部本館
1階平面図



FaceBook
パブリック・グループ
自主講座「認識台湾」イベントのお知らせ、台湾にかかわるニュースなど



Twitter
@RenshiTaiwan
イベント最新情報、台湾にかかわる耳寄りなつぶやきなど